

令和8年度 ミュンヘン日本人国際学校 グランドデザイン

令和8年4月

【基本理念】

- 1 ミュンヘン及びその近郊に居住する子女に対し、文部科学省が定める「学習指導要領」を基に日本と同等以上の教育機会を提供する
- 2 日本人としての自信と誇り、且つ、国際性をもった、世界に貢献できる人物の育成を目指す
- 3 美しく正しい日本語、日本の文化と伝統の尊重、異文化への敬意、人倫の遵守、自律心の涵養を学ぶべき柱とする
- 4 教職員・保護者・理事が一致協力して教育環境の整備に努め、常により質の高い教育の実現を追求する

ミュンヘン日本人国際
学校理事会・保護者会
日本人会・日独協会

バイエルン州政府
ミュンヘン市教育局
日本国総領事館
文部科学省

【学校教育目標】

主体的に社会の変化に対応できる能力をもった、心身ともに調和のとれた児童生徒の育成

【今年度の重点目標 目指す児童・生徒像】

- グローバルな視点から多様性を認め合うことができる児童・生徒
- 自ら考え判断し、表現・行動できる児童・生徒

（知育）

【自ら学ぶ向上心の育成】

☆考え行動できる子

（伝える言葉）

- 自分の考えを積極的に表現できる子
- 自ら学び進んで課題解決ができる子

（徳育）

【豊かな心の育成】

☆心配りのできる子

（感じる心）

- 互いに違いを理解し認め合い、協力して頑張ることのできる子
- 挨拶など基本的な生活習慣を身につけている子

（体育）

【たくましい体の育成】

☆たくましい子

（働く力）

- 何事にも意欲的にチャレンジし、自己啓発できる子
- 強健な体を保ち、健康で安全な生活ができる子

【教科指導】

- 研究主題『多様な考えを生かして学びを深める児童生徒の育成』を大切に授業改善に努める
- 主体的・対話的で深い学びを実践する
- ICT機器を活用し、個別最適な学びを推進する

【MT等の現地理解教育】

- ドイツの自然や文化を活かした体験的な活動の充実を図る
- 探求的、体験的な学習を通して、ドイツの歴史文化、生活習慣等に触れ、その理解を深める
- 学んだドイツ語をMTや現地校との交流活動で活用するなど主体的、創造的に取り組む態度を育てる

【道徳指導 特別活動】

- 個性を認め合い、共により良く生きようとする心豊かな児童生徒の育成に努める
- 全教育活動を通じ、人格の基盤とする道徳性の育成を図る
- より良い学校づくりのため、自治能力の育成に努める

【ドイツ語 英語指導】

- ドイツ語学習、英語学習を通じて、語学力の向上と国際感覚の育成を目指す
- ドイツ語圏の人や文化をより良く理解して日常生活の充実を目指す

【目指す教職員集団】

- グローバル人材育成の最前線に勤務していることを自覚し、『選ばれる日本人学校』づくりに向け工夫ある教育活動に努める
- 質の高い授業・教育環境の提供を目指し、日々研鑽に励み資質向上に努める

【開かれた学校・保護者・地域と共につくる学校】

- 保護者会・日本人会・現地校・補習校等、関係諸団体との連携・交流
- 積極的な情報発信

児童・生徒の命を守り、居心地の良さを感じ安心して楽しく学べる学校